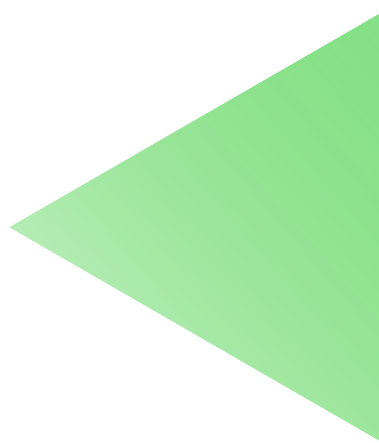
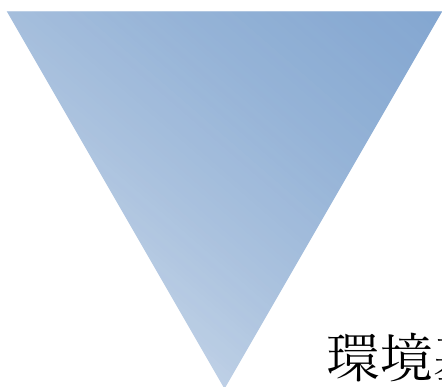


中間案



環境基本計画 - 資料編



2021~2030

龜山市

# 目次

## 1、共生・快適・循環・低炭素に関する状況等（参考資料参照）

## 2、環境関連の主な取組と現行計画の総括等について 2

- (1) 環境関連の主な取組 2
- (2) 本市の「環境」に関する概要 4
- (3) 各計画の目標等の達成状況 8
- (4) 各計画に関する問題・課題 1 2

## 3、策定経過 1 4

- (1) 亀山市環境審議会・亀山市廃棄物減量等推進審議会 1 4
- (2) 市民意見等 1 4
- (3) 庁内意見 2 1

## 2、環境関連の主な取組と現行計画の総括等について

### (1) 環境関連の主な取組

---

平成15年の環境基本条例の施行以降、本市では「亀山市環境基本計画」を始めとした環境関連計画を策定し、環境関連の施策を推進してきました。その主な取組は次のとおりです。

#### (環境関連の主な取組)

平成15年 環境基本条例施行（旧亀山市・旧関町）

平成16年度 『亀山市環境基本計画』策定

#### 亀山市総合環境研究センターを開設

平成17年度 『亀山市一般廃棄物処理基本計画』策定

平成19年度 亀山里山公園「みちくさ」開園

平成20年度 鈴鹿・亀山地区におけるレジ袋削減（有料化）・マイバック推進

#### 運動を展開

『亀山市地球温暖化防止対策地域推進計画』策定

平成22年度 環境家計簿「エコライフチェック」の取組を展開

『亀山市一般廃棄物処理基本計画』改定

溶融飛灰の再資源化処理によって最終処分量ゼロを達成

市西部の森林地域と関宿周辺地域が鉱区禁止地域に指定

平成23年度 市条例により資源物の持ち去り対策を強化

平成24年度 環境活動ポイント制度（後に「オール亀山ポイント（AKP）」）  
開始

平成25年度 『亀山市環境基本計画』改定

『亀山市地球温暖化防止対策実行計画（区域施策編）』策定

平成28年度 市民団体と協働し「里山塾」を開講

『亀山市一般廃棄物処理基本計画』改定

平成30年度 環境への取組を拓げるため新たな「AKP」を展開

食品ロス削減への取り組みを強化

『亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条  
例』制定

令和 元年度 鈴鹿川等の河川に生息する水生生物調査を開始

## (2) 本市の「環境」に関する概要

### ①市民の環境（自然）に対する認識

市内には自然が多くあるが、自然と調和した開発や里山農地等の保全が適切に図られていない。

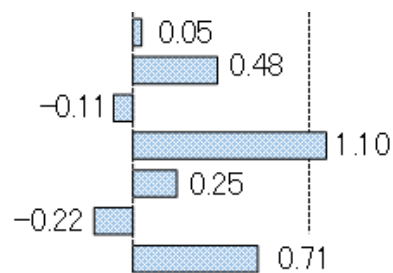
#### 『第2次亀山市総合計画前期基本計画推進のための市民アンケート（R1）』

- ・「ごみ減量等の推進」「自然環境の豊かさ」「生活排水の適切処理」への満足度は比較的高い。
- ・一方「里山農地等の保全」「自然と調和した開発推進」への満足度が比較的低い。
- ・前回（H28年）との比較では、「自然環境の豊かさ」「生活排水の適正処理」への満足度は上昇しているが、「ごみ減量等の推進」「自然とのふれあい機会充実」「自然と調和した開発推進」などその他の項目の満足度は低下している。

#### ▶ 市政等に対する現状評価（満足度）

環境創造

- (8)地球環境保全の推進
- (9)ごみ減量等の推進
- (10)里山農地等の保全
- (11)自然環境の豊かさ
- (12)自然とのふれあい機会充実
- (13)自然と調和した開発推進
- (14)生活排水の適正処理



#### ▶ 市政等に対する現状評価（満足度）推移（前回（H28年）との比較）

環境創造

- (8)地球環境保全の推進
- (9)ごみ減量等の推進
- (10)里山農地等の保全
- (11)自然環境の豊かさ
- (12)自然とのふれあい機会充実
- (13)自然と調和した開発推進
- (14)生活排水の適正処理



## ②生活排水処理の状況

市内の河川の水質はおおむね良好である。

### 『亀山市の環境』

・鈴鹿川、安楽川及び中ノ川の水質はおおむね良好な水準に保たれている。

図3-1-1 鈴鹿川のBOD75%水質値の経年変化

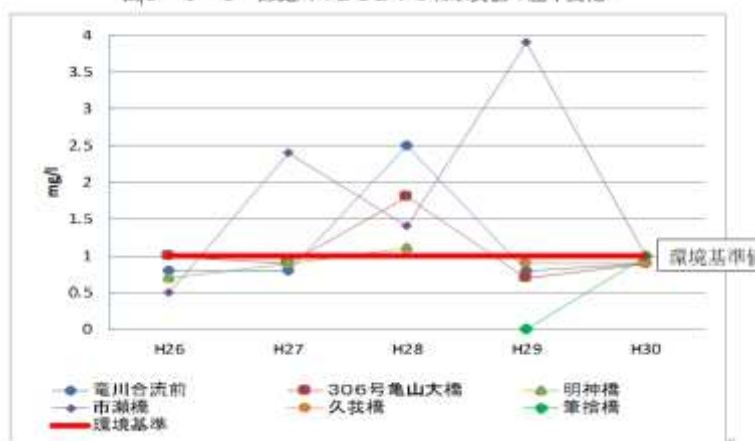


図3-1-2 安楽川のBOD75%水質値の経年変化

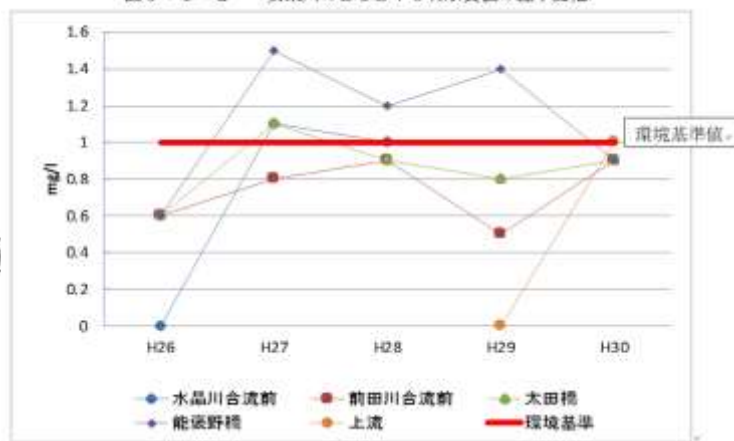


図3-1-3 中ノ川のBOD75%水質値の経年変化

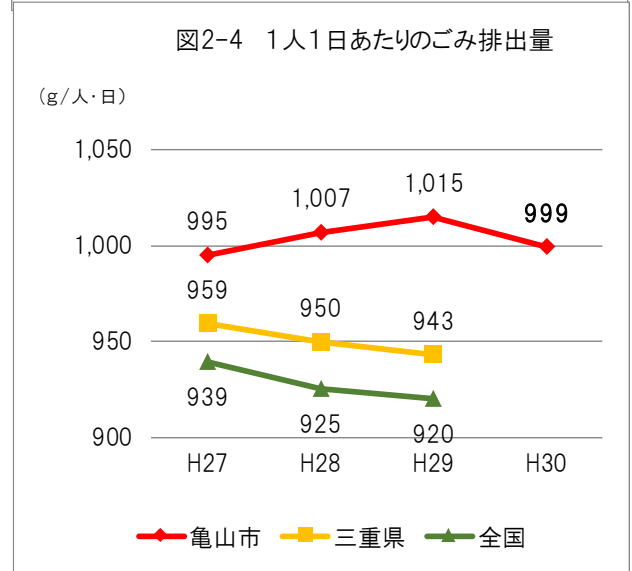
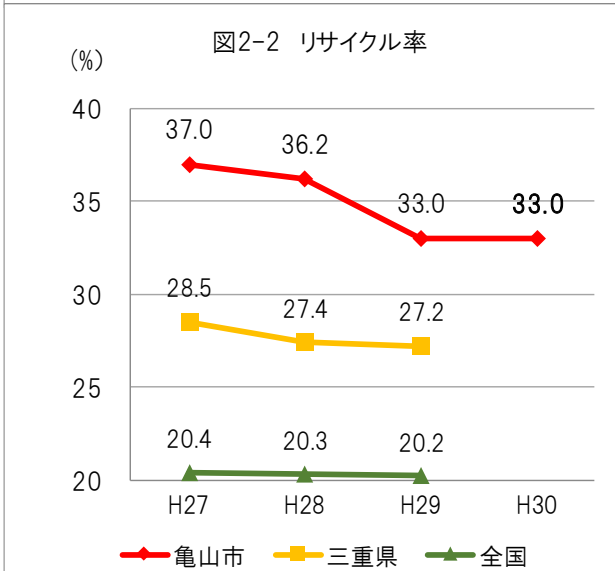
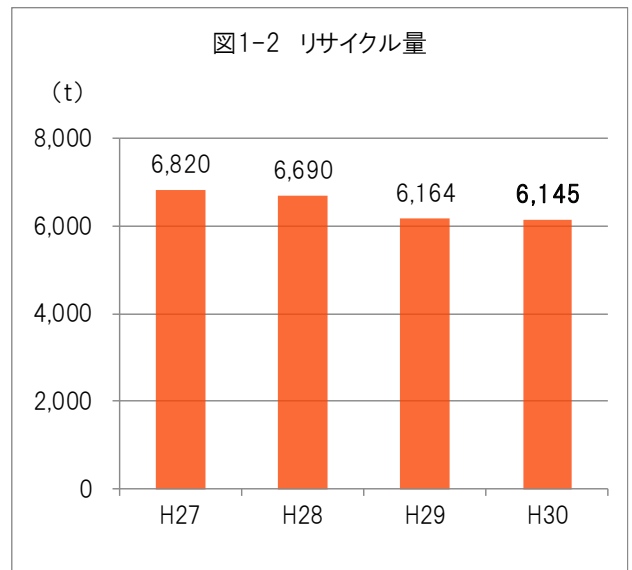
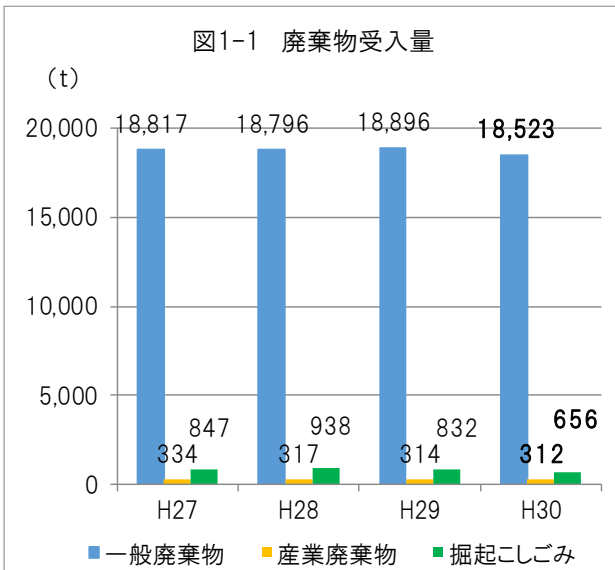


### ③ごみ処理の状況

リサイクル率は全国・三重県平均よりも高いが、1人1日あたりのごみの排出量は全国・三重県平均に比べて多い。

#### 『亀山市の廃棄物処理状況』

- ・廃棄物の受入量は、減少傾向にある。
- ・リサイクル量及びリサイクル率は、新聞紙等の紙類が減っていることから、減少傾向にある（H32目標42%）。
- ・1人1日あたりのごみの排出量は、平成30年度に減少に転じたが、依然として全国・三重県平均に比べて多い（H32目標925g/人・日）。



#### ④温暖化に関する意識

省エネ行動・省資源活動に関する意識の向上が十分に図られてるとは言い難い。

#### 『環境に関するアンケート（平成29年度実施分）』

- ・「省エネ機器買換えによる削減」「新エネルギー導入による削減」については、実施率が上昇している。
- ・一方、「省エネ行動による削減」「省資源活動による削減」については、実施率が下降している。

項目		計画策定時	H29 アンケート
市民：省エネ行動による削減		56%	54.20%
市民：省資源活動による削減		97.50%	95.80%
市民：省エネ機器買換えによる削減		34.00%	35.60%
市民：新エネルギー導入による削減	太陽熱温水器	5.80%	6.70%
	太陽光発電	6.70%	11.80%
	コージェネレーション	1.00%	2.90%
	ヒートポンプ式給湯器	7.90%	10.80%
	専熱回収型給湯器	1.00%	1.30%
	クリーンエネルギー自動車	25.20%	28.70%



(3) 各計画の目標等の達成状況

「亀山市環境基本計画」、「亀山市地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】」及び「亀山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画・生活排水処理基本計画）」の各計画の目標及び現状は次のとおりです。

なお、現状については、目標年度である令和2年度の値を把握できないことから、現段階で把握可能な最新のものを使用し、比較しています。

: 目標に達した項目

: 目標に達しなかった項目

① 亀山市環境基本計画・亀山市地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】

基本目標	施策の方針	項目	目標（R2年度）
			現状（※）
			（策定時：H24）
1 自主・協働による取り組みの促進（参画・教育）	環境教育・環境学習の推進	環境教育に満足している市民の割合	<input type="checkbox"/> 35%
			<input type="checkbox"/> 23%
			<input type="checkbox"/> (24%)
	推進体制の整備	地域や自治会などの環境活動に満足している市民の割合	<input type="checkbox"/> 40%
			<input type="checkbox"/> 36%
			<input type="checkbox"/> (32%)
2 自然との共生（共生）	豊かな自然の保全	豊かな自然（水のきれいさ、緑の多さ）に満足している市民の割合	<input type="checkbox"/> 75%
			<input type="checkbox"/> 60%
			<input type="checkbox"/> (63%)
		森林整備面積	<input type="checkbox"/> 282ha/年
			<input type="checkbox"/> 184ha/年
			<input type="checkbox"/> (150 ha/年)

	里山・農地の保全	効率的かつ安定的な農業経営が地域における農用地の利用に占める面積のシェア（目標は令和4年）	60%
			22.3%
			(19%)
	生物の多様性の確保	動物や植物の多さに満足している市民の割合	55%
			51%
			(46%)
	自然とのふれあいの創出	自然とのふれあいに満足している市民の割合	80%
			64%
			(68%)
3 快適な生活環境の創造 (安心)	快適な生活空間の創出	公園・緑地の環境美化ボランティアの団体数	29 団体
			19 団体
			(15 団体)
	環境に配慮した事業活動の促進	工場・事業所の対応に満足している市民の割合	40%
			37%
			(30%)
生活排水対策の推進	浄化槽等処理人口率（公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽）	94.6%	
		88.2%	
		(72%)	
4 循環型社会の構築 (循環)	ごみ減量と再利用・再生利用の推進	一般廃棄物のリサイクル率	45%
			33.0%
			(39%)
	ごみの適正処理の推進	ごみ処理対策に満足している市民の割合	80%
			75%
			(70%)
5 低炭素社会の構築 (低炭素)	二酸化炭素の排出抑制	(参考) 二酸化炭素削減量 H20 年度比（総量・一部仮算定）	▲256 千 t-CO <sub>2</sub>
			▲385 千 t-CO <sub>2</sub>
			(-)
	※地球温暖化防止対策実行計画 【区域施策編】	地球規模の環境問題への対応	太陽光発電導入率 (市内：50kW未満)
11.8%			
(6.7%)			
		低公害車・低燃費車の導入率	53.4%

	道路交通対策の推進	28.7%
		(25.2%)

※現状値は、環境に関するアンケートを活用した市民の割合に関するもの、森林整備面積及び効率的かつ安定的な農業経営が地域における農用地の利用に占める面積のシェアは平成29年度、二酸化炭素削減量は平成28年度、それ以外のは平成30年度のもの。

## ②亀山市地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】の削減行動目標

項目		目標 (R2 年度)
		現状 (H29 年度)
		(策定時：H24)
市民：省エネ行動による削減		71%
		54.2%
		(56%)
市民：省資源活動による削減		100%
		95.8%
		(97.5%)
市民：省エネ機器買換えによる削減		76%
		35.6%
		(34%)
市民：新エネルギー導入による削減	太陽熱温水器	12.7%
		6.7%
		(5.8%)
	太陽光発電	17.5%
		11.8%
		(6.7%)
	コージェネレーション	7.2%
		2.9%
		(1.0%)
	ヒートポンプ式給湯器	13.6%
		10.8%
		(7.9%)
	専熱回収型給湯器	5.5%

		1.3%
		(1.0%)
	クリーンエネルギー	53.4%
	自動車	28.7%
		(25.2%)
ごみ処理量減量（現状は平成 30 年度）		16.8 千 t / 年以下
		17.6 千 t / 年
		(18.9 千 t / 年)
間伐面積		282ha / 年
		184ha / 年
		(150 ha / 年)

③ 亀山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画・生活排水処理基本計画）

項目	目標（R2 年度）
	現状（H30 年度）
	（策定時：H27）
1 人 1 日あたりのごみ排出量	925 g / 人・日
	999 g / 人・日
	(995 g / 人・日)
資源化率	42.0%
	33.0%
	(37.0%)
最終処分量	0 t
	0 t
	(0 t)
使用済小型電子機器の回収量	1.5 k g / 人・年
	1.5 k g / 人・年
	(1.4 k g / 人・年)
汚水処理（公共下水道・農業集落排水処理施設・合併浄化槽）人口普及率	84.0%
	88.2%
	(78.2%)

#### (4) 各計画に関する問題・課題

---

##### ① 亀山市環境基本計画

「環境教育に満足している市民の割合」「地域や自治会などの環境活動に満足している市民の割合」その他環境に関する市民意識に関する項目については、亀山市環境基本計画の目標に達した項目はなく、今後も各項目の市民満足度の向上に努める必要があります。

また、「森林整備面積」「効率的かつ安定的な農業経営が地域における農用地の利用に占める面積のシェア」その他の項目についても、製造業の影響が大きく変動の大きい二酸化炭素削減量を除き、亀山市環境基本計画の目標に達した項目はなく、今後の取り組みについて改めて検討していく必要があります。

##### ② 亀山市地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】

亀山市環境基本計画における低炭素社会の構築に関する項目及び亀山市地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】における削減行動目標については、目標に達した項目はなく、今後の取り組みについて改めて検討していく必要があります。

### ③ 亀山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画・生活排水処理基本計画）

亀山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画・生活排水処理基本計画）における項目については、「1人1日あたりのごみ排出量」及び「資源化率」については目標に達していませんが、「最終処分量」、「使用済小型電子機器の回収量」及び「汚水処理人口普及率」の各項目については目標を達成しています。

今後は、「1人1日あたりのごみ排出量」の削減及び「資源化率」の向上に努めるとともに、「最終処分量」ゼロの維持、「使用済小型電子機器の回収」の一層の強化及び「汚水処理人口普及率」の向上に取り組んでいく必要があります。

#### （4）これまでの取り組みの総括

「里山塾」の開講や「AKP」の展開、資源物の持ち去り対策の強化や最終処分量ゼロの達成等、環境に関する取り組みを進めてきましたが、環境に関する市民満足度やその他の項目の多くが求める水準に達していません。

今後、亀山市環境基本計画を始めとした環境関連計画相互の一層の整合を図るとともに、効率的・効果的な施策の実施に繋げ、環境政策を総合的に推進する必要があります。

### 3、策定経過

#### (1) 亀山市環境審議会・亀山市廃棄物減量等推進審議会

---

##### ①亀山市環境審議会

- ・令和元年7月25日(木)

環境基本計画その他環境関連計画の改定または策定について

- ・令和2年1月20日(月)

亀山市環境基本計画の中間案について

##### ②亀山市廃棄物減量等推進審議会

- ・令和元年11月14日(木)

亀山市環境基本計画その他環境関連計画の改定について

- ・令和2年1月20日(月)

亀山市環境基本計画の中間案について

#### (2) 市民意見等

---

##### ①関係団体等アンケート及びヒアリングの実施

- ・令和元年9月20日(金)

森林関係ヒアリング・温暖化関係ヒアリング

・令和元年9月21日（土）

生物・植物関係ヒアリング

・令和元年9月24日（火）

廃棄物関係ヒアリング・三重県総合博物館ヒアリング

※ヒアリングに当たって事前にアンケートを実施。

（参考：ヒアリング先）

#### 1) 生物・植物関係

- ・里山公園みちくさ管理運営協議会
- ・魚と子どものネットワーク
- ・水辺づくりの会鈴鹿川のうお座
- ・亀山の自然環境を愛する会
- ・亀山市自然に親しむ会
- ・三重県北部の昆虫を調べる会

#### 2) 森林関係

- ・鈴鹿川等源流の森林づくり協議会事務局
- ・鈴鹿森林組合
- ・NPO法人森林の風

#### 3) 廃棄物関係

- ・亀山市地区衛生組織連合会
- ・ごみダイエツトサポーター

#### 4) 温暖化関係

- ・地球温暖化防止対策推進員



5) 全般：県全体の動向

- ・三重県総合博物館

②ワークショップの開催

- ・令和元年10月13日（日）

第1回ワークショップ：課題の抽出・解決策の検討

- ・令和元年11月 4日（月）

第2回ワークショップ：具体的な対策の検討・優先順位付け

# 「環境基本計画策定に向けたワークショップを開催しました」

## はじめに

亀山市では、現在、2021年から2030年までを計画期間とする次期環境基本計画の策定を進めています。今回の策定にあたっては、既存の環境関連の3計画(環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、地球温暖化防止対策実行計画)を更新するとともに、新たに「生物多様性地域戦略」「地域気候変動適応計画」の2計画を作成し、環境に関する取り組みを推進していきます。

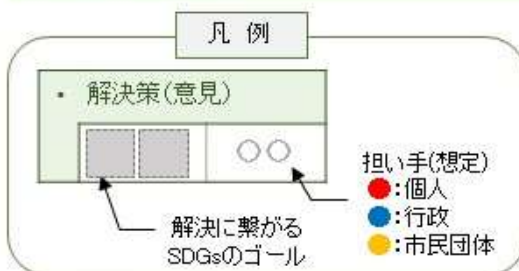
## 環境に関する課題の抽出

環境基本計画の策定に向けて、各分野の団体の方にアンケートを実施するとともに、このアンケートを基に各団体の方にヒアリングを行いました。このアンケートやヒアリングでは、日頃、亀山市の環境について思うところ、改善点、問題点などをお聞きしました。

また、令和元年10月13日には第1回ワークショップを開催しました。ワークショップでは、様々な分野のメンバーでグループを作り、約10年後の亀山市の環境をどうするか、どのような亀山市を目指すかについて活発な意見交換を行いました。さらに、解決策については、2015年に国連で採択されたSDGsとの関係や、解決策の担い手について考えました。

## 各環境分野の課題に対する解決策(意見)

これまでに出された課題やその解決策を分野別に紹介します。



### ■共通

- 亀山の良好な自然の維持と、農業や林業、新しい産業との両立を目指す



- 子ども達に体験的な学習をする



### ■廃棄物について

- 市民と行政が連携して、ごみを減らすだけでなく、資源化できるごみを増やす
- 食品ロスの削減(自分で判断できる力をつける(賞味・消費期限))
- 美しい亀山のアピール(ポイ捨てがしにくいように)



- 市民のごみに対する意識を高める取組の推進
- ムダが出にくい仕組み・制度の構築
- 自治会と共同での作業システムを構築する(雑草に関する問題等)



第1回ワークショップ:グループごとに、活発な意見が出されました

## ■生物多様性について

- ・ 獣害に関するデータを整理して公開し、ドローンの活用などによる駆除対策を推進する。



- ・ 活動団体の担い手を育成する。



- ・ 外来種や河川をテーマにした環境学習の場を設置、イベントを実施する。
- ・ 生物が生息でき、子どもたちが遊べる河川環境を維持・保全する。
- ・ 広報の配布など、学校や市役所と連携し、亀山市の自然をアピールする。



## ■温暖化・気候変動について

- ・ 森林の適切な管理を実施する。
- ・ 森林管理の担い手を育成する。



- ・ 熱中症や感染症予防のため、まちに風の通り道を確認したり、蚊の発生場所を減らす取組を推進する。



- ・ 小中学校での環境教育の充実やイベント開催により、温暖化に対する理解を促進する。



- ・ 雨水利用の促進など災害に強い生活スタイルを推進する。



## ■農業について

- ・ 農業の後継者として、若い世代向けインターンシップや、シルバー人材を活用する。



- ・ 地元農作物のブランド化促進(既にブランド化している亀山茶をPRする)。



- ・ 農業を、環境や観光と結びつける。



- ・ 耕作放棄地対策として、規制緩和による農用地以外の利用を促進する。



第1回ワークショップ:出された意見を発表。グループによって特色がありました。

## 今後の予定

令和元年11月4日に、第2回ワークショップを開催します。ここでは、これまでいただいた意見を踏まえ、10年後の亀山市の環境のあるべき姿の実現に向けて、具体的に何を実施すべきか、どのような連携が可能かなどを考えます。その後、審議会での審議やパブリックコメント等を経て、令和2年度末に環境基本計画を策定する予定です。

# 「環境基本計画策定に向けた 第2回ワークショップを開催しました」

Kameyama  
Workshop  
News Letter

発信元：亀山市生活文化部  
環境課環境創造G  
発行日：令和元年11月12日

はじめに

亀山市では、現在、2021年から2030年までを計画期間とする次期環境基本計画の策定を進めています。  
今回の策定にあたっては、既存の環境関連の3計画(環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、地球温暖化防止対策実行計画)を更新するとともに、新たに「生物多様性地域戦略」「地域気候変動適応計画」の2計画を作成し、環境に関する取り組みを推進していきます。

## 第2回ワークショップ 環境に関する課題の優先順位付け～マテリアリティ分析～

第2回のワークショップでは、企業が長期的な経営戦略を立てる際に、近年よく用いられている「マテリアリティ分析」を、亀山市における環境課題を対象に実施しました(マテリアリティ=重要課題)。

マテリアリティ分析では、「市民」「亀山市」のそれぞれの視点での重要度を、右の図のように横軸、縦軸に整理し、右上に位置づけられる課題=最優先で対応すべき課題と考えます。

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップ等で皆さまからいただいたご意見を基に抽出した、代表的な26課題を対象として、各グループごとに優先順位付けを行いました。



## マテリアリティ分析をやってみた！

「10年後の亀山市の環境のあるべき姿の実現」に向けて、具体的に何を実施すべきか、優先順位が高い課題は何かを各グループで考えたところ、右のような結果になりました。

No	第1回ワークショップ課題(略称)	分野
1	良好な自然の維持	共通
2	農林業と新産業の両立	共通
3	体験学習の推進	共通
4	資源化ごみを増やす	廃棄物
5	食品ロスの削減	廃棄物
6	ごみへの意識高揚	廃棄物
7	ムダが出ない仕組みづくり	廃棄物
8	収集等作業システム構築	廃棄物
9	美しい亀山のアピール	廃棄物/生物多様性
10	獣害データ公表	生物多様性
11	外来種・害獣駆除	生物多様性
12	担い手育成(生物多様性)	生物多様性
13	環境学習イベント開催	生物多様性
14	良好な河川環境の維持	生物多様性
15	森林の適切管理(税金活用)	温暖化・気候変動
16	森林の適切管理(企業との連携)	温暖化・気候変動
17	担い手育成(森林管理)	温暖化・気候変動
18	CO2削減	温暖化・気候変動
19	熱中症・感染症予防	温暖化・気候変動
20	温暖化理解促進	温暖化・気候変動
21	災害に強い生活スタイル	温暖化・気候変動
22	農業後継者の確保	農業
23	農業+環境・観光	農業
24	農作物ブランド化	農業
25	耕作放棄地対策	農業
26	住環境の改善(騒音対策)	その他

### ■グループ①の結果(1班+2班)



### ■グループ②の結果(3班+4班)



## ■優先順位が高い項目

グループ毎に優先順位の高い項目の傾向は異なりますが、共通項目として「良好な自然の維持」や「災害対策」、「農業の後継者確保」、「ごみへの意識向上」、「食品ロス削減」、「森林の適切管理」などが優先的に取組む必要がある課題として抽出されました。

### ■グループ①

9点	①良好な自然の維持	⑫外来種・害獣駆除
	⑬担い手育成(森林管理)	⑬熱中症・感染症予防
6点	⑭災害に強い生活スタイル	
	⑭農林業と新産業の両立	⑤食品ロスの削減
	⑯ごみへの意識高揚	
	⑯森林の適切管理(企業との連携)	⑯削減
	⑰温暖化理解促進	
	⑱農業の後継者確保	

\*各グループの共通項目は赤字

### ■グループ②

9点	①良好な自然の維持	④資源化ごみを増やす
	⑤食品ロスの削減	⑥ごみへの意識高揚
6点	⑭良好な河川環境の維持	
	⑮森林の適切管理(税金活用)	
	⑰外来種・害獣駆除	
	⑰環境学習イベント開催	
	⑯森林の適切管理(企業との連携)	
	⑭災害に強い生活スタイル	⑱農業の後継者確保
	⑲耕作放棄地対策	

## ■優先順位の高い課題とSDGsゴールの関連づけ

グループ①では、温暖化・気候変動、生物多様性、教育に関わるゴールが多く、グループ②では、教育、生物多様性、パートナーシップ(連携)のゴールが多い傾向でした。

### ■グループ①

① 良好な自然の維持	
⑫ 外来種・害獣駆除	
⑬ 担い手育成(森林管理)	
⑬ 熱中症・感染症予防	
⑭ 災害に強い生活スタイル	

### ■グループ②

① 良好な自然の維持	
④ 資源化ごみを増やす	
⑤ 食品ロスの削減	
⑥ ごみへの意識高揚	
⑭ 良好な河川環境の維持	
⑮ 森林の適切管理(税金活用)	

## ■参加者からの感想

- ・ 人それぞれ、班それぞれでどの課題を重要と考えるかが違っていましたが、豊かな自然についてはどの班も亀山市にとって大切だと捉えられてよかった。
- ・ 班によって同じ課題でも重要性の位置づけが違った場合、その考え方の違いを話し合うことができて有意義だった。
- ・ 世代間でいろいろな話が出てきて、刺激を受けることができた。
- ・ 市内の人の視点だけでなく、市外の人の意見も聞けて良かった。
- ・ どうしてもその班で中心的な人の意見に偏ってしまう面がある。



第2回ワークショップの様子

### ■ワークショップに協力していただいた団体等(五十音順)

NPO法人森林の風、亀山黒山公園みちくさ管理運営協議会、亀山市自然に親しむ会、亀山商工会議所、亀山の自然環境を愛する会、魚と子どものネットワーク、市職員、地球温暖化防止対策推進員、廃棄物減量等推進委員(こみダイエットサポーター)、三重県北部の昆虫を調べる会、水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座、豊かな自然を守る会

## 今後の予定

第1回、第2回ワークショップなど、これまでいただいた意見を参考に次期環境基本計画(案)をとりまとめ、審議会での審議やパブリックコメント等を経て、令和2年度末に環境基本計画を策定する予定です。

### (3) 庁内意見

---

#### ①環境基本計画の改定等に伴う分野別ワーキングの実施

・令和元年10月24日(木)

生物多様性関係ワーキング・廃棄物関係ワーキング

・令和元年10月25日(金) 10月28日(月)

温暖化対策関係ワーキング

(参考：ワーキングの構成：次のグループのGL)

#### 1) 生物多様性関係ワーキング

- ・環境創造G      ・森林林業G      ・農業G      ・まちなみ文化財G
- ・観光交流G

#### 2) 廃棄物関係ワーキング

- ・環境創造G      ・廃棄物対策G      ・下水道工務G      ・下水道管理G
- ・健康づくりG

#### 3) 地球温暖化対策関係ワーキング

- ・環境創造G      ・契約管財G      ・森林林業G      ・農業G
- ・防災安全G      ・都市計画G      ・健康づくりG

②環境基本計画の改定等に関する関係課長会議の開催

・令和元年11月13日（水）

（参考：ワーキングの構成：次の課の課長等）

- ・政策課
- ・財務課
- ・環境課
- ・文化スポーツ課
- ・地域観光課
- ・長寿健康課
- ・産業振興課
- ・土木課
- ・都市整備課
- ・下水道課
- ・防災安全課
- ・学校教育課